



竜野保育園で37年続く三世代交流もちつきが開催され、親子の交流を楽しむ園児ら（上早川）

うたごよみ 睦月

「短歌」

渡辺幸士 選

里の秋創作料理頂きておんな四人の至福のときか
池田キヨ子

高校の文化祭にてお茶を点て着物姿で孫は
振舞う
緒方 明美

浄土へと旅立ちし夫の一年を待つかのよう
塚原 暁益

「良いことがありますかも」と言うように
コスモスの花やさしく揺るる
内田乃武子

穏やかな日差しの注ぐ晩秋の即位の礼を映
像に見る
吉永由紀子

娘連れ八代海の夕陽見る秋の夕暮れ神々し
かり
赤星 文子

寒い時期今年も早く来たかと思えば朝に
雷鳴聞こゆ
上村やす美

和やかな令和の御代よ永久に世界の平和神
に折れり
白梅 武人

旅の夜の居酒屋にて出逢いたる孤独を想う
それぞれの顔
渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「ぬるぬる」

ぬるぬるの田植えの感じ忘れぬ
林 雅之
丑の日はぬるぬるうなぎ御難の日
日隈 俊郎
ぬるぬると鰻を掴むのに苦労
川村 文子

「クリスマス」

クリスマスお寺はどうに寝てしまい
清川みどり
イブの夜今日だけ俄かクリスマスチャン
渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美 選

新元号 この家計簿が欲しいだけ
広田みどり
新元号 連日祝いで二日酔い
下山 千恵
新元号 慶祝行事厳かに
志垣 光
新元号 今年こそはの願い込め
佐藤 葵
新元号 なかなか令和言いにつか
平井やよい
新元号 まあたメディアの荒探し
長原 産賀
新元号 故障知らずの火の車
佐野 京
新元号 気分上々大吉で
光永 六
新元号 期待膨らむ袋とじ
井元あざみ
新元号 生きて来た道ふり返る
日高 美里
新元号 陛下も皇位譲られた
上田 梅清
新元号 数え年ならけまつるる
日隈 元良
新元号 各社振袖競うとる
北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
TEL 096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

11月11日(月)~12月10日(火)

birth **お誕生おめでとう**

住所	氏名	性別	保護者
緑町	美濃田雅音	男	憲介
早川	大隈依千珂	女	暁帆

marriage **ご結婚おめでとう**

	住所	氏名
夫	東寒野	高見 拓郎
	菊陽町	緒方 仁美
妻	上早川	米原 竜馬
	仁田子	伊藤 奈々
夫	横田	渡邊 哲郎
	熊本市	村上 菜南
妻	麻生原	藤原 浩之
	麻生原	平川 有羽

condolence **お悔やみ申し上げます**

住所	氏名	年齢	世帯主
西寒野	三浦真砂子	94	孝 宣
麻生原	島田サチ子	78	征 記
麻生原	伊佐アキコ	99	きよみ
上早川	野仲恵都子	84	泉
上早川	本田 千	85	孝 子
中山	柴田 昌昭	89	クミ子
岩下	寺山フエ子	82	卓
下横田	浅木 麗子	95	麗 子
西寒野	松村 信子	100	武 智

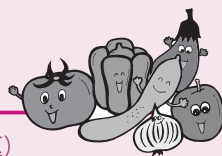
data **甲佐町の人口・世帯数**

項目	数	増減
男	5,055	6
女	5,536	▲14
計	10,591	▲8
世帯数	4,294	8

令和元年11月30日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



餅巾着

ご存知ですか？

むかし日本では、餅は神聖な食べ物だったってご存知ですか。餅を食べると力が付き、生命を再生させる力があると信じられており、お祝い事に餅を食べる習慣が広がったようです。

炭水化物の多いお餅は、ブドウ糖に分解されエネルギー源となります。さらに腹持ちが良いため朝に食べると、お昼まで十分に動くことが出来ます。

ただし、お餅は血糖値が急上昇しやすい食材なので、他の食材と組み合わせて食べましょう。正月のお雑煮は、お餅と一緒にいろんな野菜やお肉を食べますね。理想的な食べ方で、日本人の知恵ですね。



作り方

- ①餅は適度な大きさに切っておきましょう。
 - ②油揚げは熱湯をかけ、キッチンペーパーで押さえながら油抜きをします。
 - ③油抜きをした油揚げに切れ目を入れ、袋状になるよう開けておきます。
 - ④開いた油揚げにお餅1個とチーズを1切れずつ入れ、爪楊枝で止めて巾着を作ります。
 - ⑤水と調味料を煮立たせた鍋に巾着を並べ、中火で5~6分煮ます。お餅が柔らかくなったら出来上がりです。
- ※水の分量を増減して、好みの味に仕上げてください。

材 料

餅	……………	4個
すし用油揚げ	……………	4枚
プロセスチーズ	……………	4切れ
麵つゆ	……………	大さじ3
砂糖	……………	小さじ1
水	……………	150~180cc

令和最初の年越しを前に、それぞれのご家庭でこの1年を振り返ってみたい方も多いのではないかと思います。皆さんにとって、平成から令和へ時代が移った2019年はどのような年になりましたか。

本町においては、8月の田口橋開通や10月の総合運動公園サッカー場一部供用開始、11月の甲佐町住まいの復興拠点施設の完成など、震災からの復興を象徴するような施設などの完成が続ぎ、創造的復興を身近に感じることが出来る1年だったのではないのでしょうか。

毎年のように大きな自然災害が発生する昨今ですが、令和の時代も自然災害への備えは必要となります。新たな年が穏やかな1年となることを祈りつつ、家族や地域で、いざというときの備えについて改めて考えてみましょう。

(と)

編集後記